

100-266

問題文

65歳女性。老年内科を受診、骨粗しょう症と診断され、下記の処方が出された。

(処方)

リセドロン酸 Na 錠 17.5 mg 1回1錠 (1日1錠)

毎週水曜日 起床時 4日分 (投与実日数)

問266

薬剤師が行う服薬指導の内容として適切なのはどれか。2つ選べ。

1. 180mL程度の十分な量の水と一緒に服用するよう指導した。
2. 嚥んだり、口中で溶かしたりせずに服用するよう指導した。
3. 起床後、食事を摂ってから服用するよう指導した。
4. 服用を忘れた場合には、気がついたときにすぐ服用するよう指導した。

問267

この患者は、日常的に牛乳を飲用していることがわかった。リセドロン酸Na錠の牛乳による服用についての記述のうち、正しいのはどれか。1つ選べ。

1. 牛乳中の油脂成分によりリセドロン酸の溶解が促進され、良好に吸収される。
2. 牛乳中の油脂成分により胃粘膜が保護されるので、服用後、すぐに横になって良い。
3. リセドロン酸は、牛乳中のカルシウムイオンとキレートを形成するので、吸収が低下する。
4. カルシウム補給のためにも、牛乳での服用が推奨されている。
5. リセドロン酸は、牛乳中の成分とは特に相互作用しないので、水で服用した場合と比べて、吸収に違いは認められない。

解答

問266 : 1, 2問267 : 3

解説

問266

選択肢 1 は、正しい選択肢です。

コップ1杯の水で飲むように指導します。のむ水の量が少ないと薬がのど等に引っかかり炎症につながるからです。

選択肢 2 は、正しい選択肢です。

口や喉を刺激する可能性があるため、嚥だりなめたりせずに服用するよう指導します。

選択肢 3 ですが

朝起きてから食事の前に飲むよう指導するのが適切な指導です。これは、空腹時でない薬の吸収が悪くなり効き目が弱くなるからです。よって、選択肢 3 は誤りです。

選択肢 4 ですが

服用を忘れた時は、まだ何か他の薬を飲んだり飲食をしていない場合はすぐに薬を服用するように指導します。又、すでに何かを口にしたのであればその日は薬をのまず、翌朝普段通りに服薬するように、と指導します。気づいたらすぐに服用するよう指導するのは適切では、ありません。よって、選択肢 4 は誤りです。

以上より、正解は 1,2 です。

問267

リセドロン酸と牛乳などの高カルシウム含有飲食物は、同時服用によりキレートを形成し吸収が妨げられるこ

とがあります。また、十分な量の水とともに経口投与し、服用後少なくとも 30 分は横にならず、水以外の飲食や他の薬剤の経口摂取も避ける必要があります。

以上より、正解は 3 です。